

# 研究課題「高齢者の認知機能低下に配慮した最適な降圧療法の解明：高齢高血圧患者を対象とした、認知機能保持ないしその改善を最終目的とした血圧管理法」に関する情報公開

## 1. 研究の対象

2016年4月1日から2020年3月31日までに、当院老年内科で認知機能検査を受けられ、オレンジレジストリ※に登録された方

※オレンジレジストリ：

軽度認知機能障害患者の情報を全国的に登録し、解析を行う研究（代表施設：国立長寿医療センター）

## 2. 研究目的・方法・研究期間

（研究1）

当施設で2016年4月1日から2020年3月31日までにオレンジレジストリに登録した患者さんのうち、高血圧合併MCI（軽度認知機能障害）患者さんを対象として本研究に登録していただき、当該研究対象者のデータを解析して、横断的に高血圧の合併状況や治療状況の実態を明らかにしたうえで、降圧治療の認知機能や脳心血管病発症への影響を縦断的に検討します。研究期間は、実施承認日～2028年3月31日です

（研究2）

同意をいただいた高血圧患者さんを認知機能正常、MCI、認知症の3群にわけて、血圧コントロール状況、降圧薬使用状況（降圧薬の有無や降圧薬の種類）と予後（認知機能、心血管イベント、など）との関連を検討します。研究期間は、実施承認日～2028年3月31日です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究1：認知機能検査の結果、教育歴、病歴、血圧、採血結果、治療薬剤の内容等

研究2：認知機能検査の結果、教育歴、病歴、血圧、採血結果、治療薬剤の内容等

## 4. 外部への試料・情報の提供

中心となる研究機関である大阪大学にあるデータセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。情報は匿名化されたうえで新たな番号を付与して管理されており、対象となる方とその番号の対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科・老年・総合内科学・教授・楽木宏実

東京大学老年病科・秋下雅弘

鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学・大石充

杏林大学医学部高齢医学・神崎恒一

国立長寿医療研究センター循環器内科・清水敦哉

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学（電話 052-744-2364、ファックス 052-744-2371） 梅垣宏行

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科・老年・総合内科学・教授・楽木宏実